

何度目かの三年振りの✓西穂・独標

個人山行報告 松井

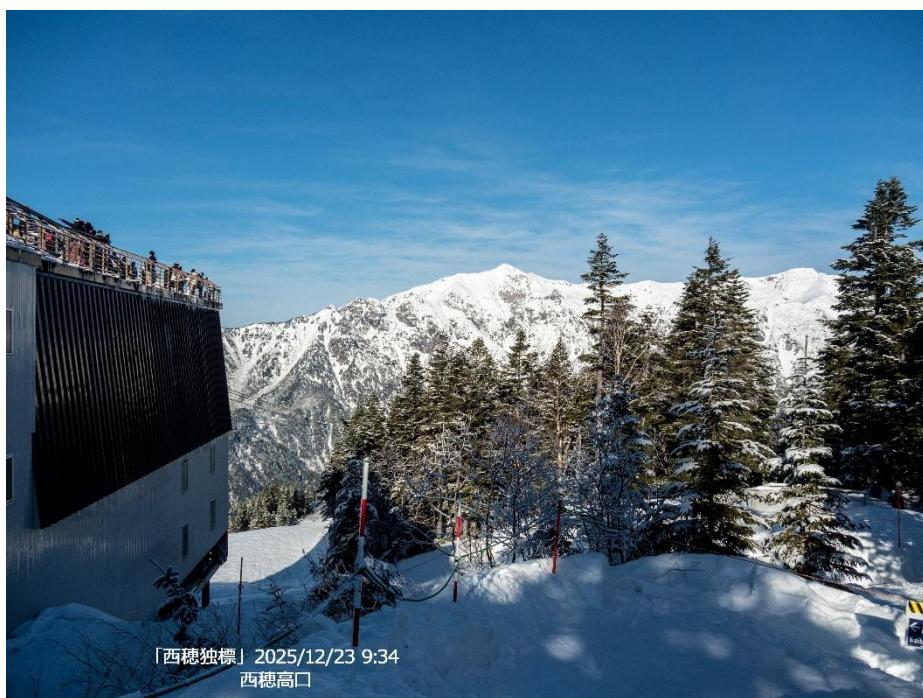
- ・山域・山名 岐阜県・高山市
- ・西穂独標 2701M
- ・日程 2025.12.23(火) 日帰り (晴れ)
- ・参加者: 松井
- ・コース実績

富士宮 4:30→富沢 IC→松本 IC→新穂高市営第二駐車場 8:30/9:00 始発ロープウェー→西穂高口 9:40→西穂山荘 10:42~11:00→丸山 11:14→独標 12:20~12:30→丸山 13:05~13:10→西穂山荘 13:22~14:00→西穂高口 14:50/15:15 発ロープウェー駐車場 15:45→平湯の森→諏訪湖 SA→富士宮 20:50

2022年から三年振りの独標、実は昨年にも行ったのだが天気が悪化し丸山で撤退した。そり時の仲間の為にもと天気の良い日を選んでリベンジ。列島が高気圧にすっぽりと覆われる予報に期待し新穂高市営第二駐車場に到着。予報通り正面の笠ヶ岳～抜戸岳の稜線は真っ白く冠雪しブルー



駐車場から見る冠雪した笠ヶ岳～抜戸岳の稜線と抜けるようなブルーの空のコントラストが見事だ。

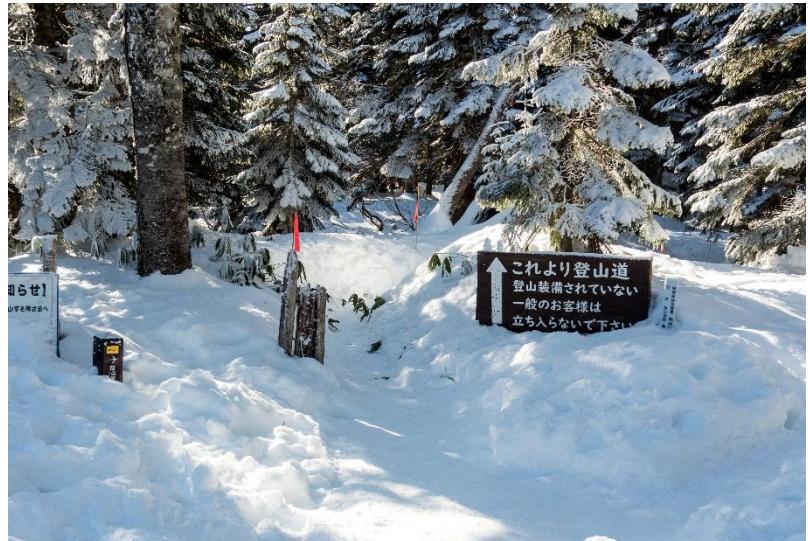


西穂高口駅の展望台には大勢の観光客で一杯だ。

の空色とのコントラストが見事だ。余談だがこの駐車場は以前は16時以降は出庫出来なかつたので登山口に近くで便利な反面帰りの時間が気になって利用することを躊躇する事があったが、昨年からか24時間営業の無人料金機器が設置され時間を気にするが事なくなった。が24時間1200円は日帰り利用には少し痛い。冬季ロープウェーの

始発は9時、平日だが30分前位から行列が出来ている。登山者は少数派で圧倒的に多いのはお隣りの国からの観光客で目的地は西穂高口駅の展望台と今度新設された「槍ヶ岳展望台」と雪の回廊。相変わらず大声で早口で大賑わいだ。

ロープウェーを二回乗り継ぎ、30分ほどで約1000mの高度を一気に上げてくれるの大いに助かる。料金は往復3800円と荷物券片道500円。



これより登山道の看板。雪の回廊の深さはまだ浅い。

9時40分、西穂高口駅をチェーンスパイクで出発する。新雪は無く圧雪の登山道はカチカチのガリガリ状態。雪の回廊もまだ腰位の深さで見通しの利く状態だ。「これより登山道」の看板を過ぎトレースに沿って細かいアップダウンを繰り返す。山荘手前に急登がありす



暫く登った所で樹林が開け雲に浮かぶ白山の展望が現れる。

ぐに山荘の屋根が現れ到着。小休止しアイゼンとヘルメットに変えて丸山に上がる。朝の抜けるようなブルーの空は次第にグレーと変わってきた。それでもここから見る冠雪した笠ヶ岳～抜戸岳の稜線は見事しか言いようがない。

丸山から独標までの標高差は250mだが手前の緩やかなの



笠ヶ岳の稜線が綺麗に見える「丸山」。
西から少しづつ雲が増えてきている。

「西穂独標」2025/12/23 11:13
西穂丸山2452m



ずっと続くかの様な独標手前の登り。

「西穂独標」2025/12/23 11:14
独標

ぼりの長い事、空に向かって登っている様だ。今日は風もなく絶好の登山日和だ。独標手前鞍部で下山者を待つ。以前下っている時に登ってくる人がいてそれ違いで怖い思いをしたので下山を確認してから登る様にしたい。

クサリ場から先は急になるが雪の量もほどほどにありピッケルのピックが根元まで刺さり安定していた。正面のピラミッドピークがデカい。西穂山荘手前で追い抜いて行った若者二人の姿

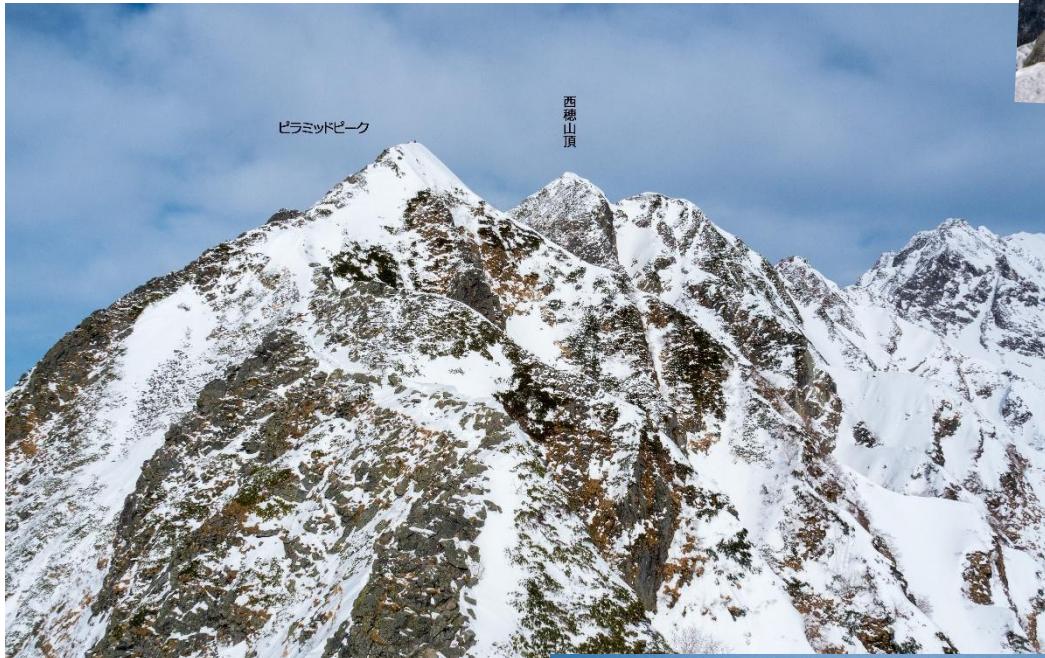


「西穂独標」2025/12/23 12:41

が見える。西穂高岳まで行くと言っていたがあのスピードでは日帰りも十分可能だろう。独標の山頂標柱が新しくなっていた。以前のほうが味が有って良かったと思うのは自分だけ？下り始めると数名のグループが鞍部で待機してくれていた有難う。

西穂山荘で再びチェーンスパイクに履き替え西穂高口駅に向かう。途中の「槍ヶ岳展望台」で振り返ると独標から西穂高岳の岩峰稜線が見渡せた。独標は一番端っこに見えるが実は端っこから数えて三番目になるのだ。山頂を一番と数え 13 のピークがあり独標は 11 番目となる。また目の前に見えるピラミッドピークと独標の間には二つの無名のピークが

ありピラミッドピークは8番目となっている。再び賑やかな観光客に混じってロープウェーを待った。



クリーミーな笠ヶ岳の稜線は見事。
山荘は雪に埋もれている。

